広島西南ロータリークラブ 会報

No.1313号



2025－2026 年度理事役員



2025-2026 RI Message

2025-2026年 最終号

ロータリー親睦活動月間

Rotary



会長メッセージ

「感謝を胸に！持続可能な社会のために ―ロータリーだからできること！」

宮﨑　　真

皆様、こんばんは。2025-2026年度の最終例会を迎え、無事に会長の任期を終えることができますことに、深い安堵と大きな感謝の気持ちでいっぱいです。至らぬ点も多々あったかと存じますが、皆様の温かい支えがあったからこそ、今日という日を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

この１年間を共に駆け抜けてくれた幹事・副幹事さんに心からの感謝を伝えさせてください。

まずは、私の最も近くでクラブ運営を支えてくれた田中幹事、下関で一緒にマラソンしたことが昨日のことのようです。問題があっても素早い行動と冷静な対応で職務を全うしてくれました。出張が多いのでどうぞご自愛ください。

小林副幹事には、職業を活かした安定感ある司会をしていただきました。仕事上、昼夜問わずだと思いますが今後もロータリーでご活躍ください。

原屋副幹事は、いつも的確な意見を言ってくれました。創業者であり忙しい中、すべての例会に出席してくれました。益々業務が忙しくなりそうですが暴飲暴食には気を付けてください。

３人がいつもそばにいてくれたことは非常に心強く、困難な局面でも常に先頭に立って汗を流してくれました。皆さんの献身的なサポートがなければ、私の会長職は一日たりとも成り立ちませんでした。本当にありがとうございました。

そして、私たちの活動を影で、力強く支え続けてくれた渡邊さん。日々の煩雑な実務を正確かつ笑顔でこなす仕事ぶりに、どれほど救われたかわかりません。ありがとうございました。

相澤さん、クラブの例会準備と進行補助いつもありがとうございました！

結びに、次年度40周年を担われる児玉会長年度の理事役員皆様の益々のご活躍と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。１年間、本当にありがとうございました。

理事役員退任挨拶

６月23日　第1811回例会卓話

副会長・会長エレクト

児 玉 栄 威



皆さま、こんばんは。

本日をもちまして、副会長の任を終えることとなりました。思えば中高一貫校の中学校卒業式を思い出すような不思議な感覚ですが、この１年間、会長をはじめ理事役員の皆さま、そして会員の皆さまに支えていただき、無事に務めることができました。心より感謝申し上げます。

副会長として多くのことを学ばせていただき、来年度の会長職に向けて大変貴重な１年となりました。

来週からはいよいよ創立40周年の節目の年の会長として１年間務めさせていただきます。皆さまのお力をお借りしながら、楽しく、仲良く、そして実りある１年にしてまいりたいと思います。

１年間ありがとうございました。そして来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

直前会長

徳 納 武 使



この１年間、会員のお力添えのおかげで、無事に大役を終えることができました。心より感謝申し上げます。

会長を退任し、宮﨑新会長を支える立場となっておりましたが、振り返りますと、十分な役割を果たすことができなかった点が心残りとして残っております。不慣れな点も多く、皆様にはご迷惑をおかけしたこともあったかと存じます。

また、前年度は会員増強にも力を尽くそうと努めてまいりましたが、思うような結果に結びつかず、この点も私の課題として残りました。

しかしながら、この経験を無駄にすることなく、来る児玉年度においては、会員増強委員長、そして理事という立場で、宮﨑年度でやり残したこと、そして私の心残りとなっている会員増強の課題に、全力で取り組んでまいる所存です。微力ながら、クラブの発展に貢献できるよう、一層精進してまいります。

１年間、皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。新年度の広島西南ロータリークラブのさらなるご発展を心より祈念申し上げ、私の退任の挨拶とさせていただきます。

幹　事

田 中 朋 博



2025-26年度の幹事を務めさせていただきました田中です。１年間、理事の皆さん、会員の皆さん、事務局の渡邊さんの多大なるご協力のお陰で、例会から各事業まで順調に運営させていただくことができました。今年度は､宮﨑会長の方針にそった､数値目標・数値化に対しても各委員会で取り組んでいただいたり、年間スケジュール確定や行事予定の見える化、例会数の変更や平和例会、慶事例会の実施、電子マネーの支払いなど新しい取組の実施などなど、皆さんにご協力いただきまして、感謝申し上げます。この１年間で学んだこと、申し送り事項など次年度の尾﨑幹事に引継ぎさせていただきます。１年間、ありがとうございました。

理事（クラブ管理運営委員長）

岡 本 倫 明



この１年間、クラブ管理運営委員長という大役を務めさせていただき、誠にありがとうございました。振り返りますと、例会運営や各種行事の準備・実施を通じて、改めて当クラブの結束力と奉仕の精神の素晴らしさを実感した１年でした。委員会活動が円滑に進められましたのも、理事役員の皆さまをはじめ、平岩・上野両委員長の温かい支援と協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

クラブ管理運営委員会の役割は、会員相互の親睦を深め、魅力あるクラブづくりを支えることにあります。至らない点も多々あったかと存じますが、皆さまのお力添えにより、無事に任期を終えることができましたことを大変嬉しく思っております。

引き続きロータリーの理念である「超我の奉仕」の精神を大切にしながら、クラブのさらなる発展に微力ながら貢献してまいります。

１年間ありがとうございました。

理事（公共イメージ委員長）

桒 田 博 正



今年度公共イメージ委員会の理事を拝命致しました桒田です。クラブ広報委員長に尾﨑順也さん、会報資料委員長に寺西浩一さんという強力な布陣で、会長スローガン「感謝を胸に！持続可能な社会のために―ロータリーだからできること！」のもと、マスコミへの広報、ロータリーの友への投稿、ホームページの更新等、対外的広報活動の積極的な推進に取り組み、当クラブのイメージ向上を目指すと共に、会員に読まれる会報誌の作成を実行しました。

各委員長をはじめ委員の皆様、会員の皆様の多大なるご協力をいただき任務を終えることができました。１年間、誠にありがとうございました。

理事（会員増強委員長）

伊 藤 英 彦



今年１年、会員増強委員長を務めさせていただきました。会員の皆様におかれましては増強活動にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年度は西南64名、衛星13名の合計77名からスタートしました。10年会を３回、オープン例会を２回開催し、ご参加いただいたゲストの方に西南ロータリークラブを知っていただくことができました。

最終的に入会者が西南３名、衛星３名の計６名、退会者は西南５名、衛星１名の計６名で、増減なしとなりました。

私個人としては、2025年３月まで出席規定適用免除をさせていただいていたところからの復帰とともに大役を仰せつかりましたが、途中で辞めることもなく退任まで務められたこと、増強委員会の栗原委員長をはじめ､当委員会に所属いただいた皆さん､温かく見守っていただいた理事・役員の皆さん、そして会員の皆様に深く感謝いたします。

１年間、本当にありがとうございました。

理事（財団委員長）

山 國　　豊



本年度は、ロータリー財団活動及び米山記念奨学事業の推進にあたり、会員の皆様の深いご理解と温かいご支援を賜り、各目標を達成することができました。

ロータリー財団におきましては、会長目標である「ロータリー財団寄付150ドル／人」及び「ポリオプラス基金30ドル／人」を無事達成することができました。また､ベネファクターにつきましては宮﨑会長に、ポール・ハリス・フェローにつきましては児玉副会長、水谷会員、岡本倫明会員、沖井会員の４名にお引き受けいただき、財団活動へのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さらに、衛星クラブ分につきましても理事会決定に基づきスマイルを活用して拠出し、クラブ全体で目標達成に取り組むことができました。一方で、寄付の徴収方法や衛星クラブ会員数増加に伴うガバナー目標へ

の対応につきましては、今後の課題として次年度以降へ引き継ぐべき事項であると考えております。

米山奨学委員会におきましては、６月２日に米山奨学生ゴー・ティ・リンさんによる卓話を実施し、会員の皆様に米山記念奨学事業への理解を深めていただく貴重な機会となりました。また、近年入会された会員を対象に米山記念奨学事業の趣旨や活動内容について説明を行い、事業への理解促進に努めました。

米山功労寄付につきましては、上田会員、佐藤暖以子会員、新藤会員、杉本会員、岡本俊雄会員、山下会員、山國会員、長野会員の８名の会員の皆様にご協力をいただき、目標を達成することができました。心より御礼申し上げます。

ロータリー財団及び米山記念奨学事業は、世界平和の推進、人道的支援、教育支援、そして国際理解と親善を深めるための重要な活動であります。本年度、両委員会の活動が成果を上げることができましたのも、ひとえに会員の皆様一人ひとりのご理解とご協力の賜物であります。

ここに改めて深く感謝申し上げますとともに、今後も広島西南ロータリークラブが「超我の奉仕」の精神のもと、財団活動及び米山記念奨学事業を通じて、地域社会並びに国際社会へ貢献し続けることを願い、2025-2026年度の合同事業報告といたします。

又、衛星クラブでの寄付については今後の課題とします。

S.A.A.

平 原 一 彦



S.A.A.を担当した平原です。

今年度は、例会ごとに会員相互の親睦を深めるため、席次を変更しました。心温まる楽しい例会になったでしょうか？

皆様のご協力で秩序正しい例会が運営されたと思っています。

又、私事で５月から例会を欠席して、先小山さん・佐藤（二）さんにご迷惑を掛けましたこと、お詫び申し上げます。

会員各位のご協力に感謝して退任の挨拶とします。

会　計

根 石 英 行



１年間会計を担当させていただきました根石です。事務局の渡邊さんのご協力の下、毎月数字を確認させていただきながら、ほぼ予算の計画のとおりに収入、支出を進めていくことができました。スマイルボックスについても上田スマイル委員長の頑張りと皆様のご協力で、厳しい予算を達成することができました。１年間本当にありがとうございました。

副幹事

小 林 伸 行



皆さん、こんばんは。１年間、副幹事を務めさせていただきました小林伸行です。

この１年を振り返りますと…一言で言うと「思っていた以上に動く役でした（笑）」。

これまでは例会も、“時間に来て参加する側”だったのですが、裏方に回ると全く違いまして、準備や段取りの細かさに驚くことばかりでした。特に例会前の「もう始まりますよ」という空気の中での最終確認は、毎回バタバタしておりました(笑)。今年度は、そば打ち体験事業をはじめ、様々な事業や行事があり、さらに40周年に向けた準備も重なって、クラブとして非常に充実した１年だったと思います。その分、裏では多くの方がご尽力されている姿を間近で見させていただき、「今まで気軽に参加していてすみませんでした」と思ったのが正直なところです(笑)。宮﨑会長、田中幹事のもとでの１年は、本当に勉強になりました。幹事の隣にいれば安心と思っていましたが、気がつけば自然と仕事が回ってくる仕組みになっておりまして、「なるほど、こうやって人は育つんだな」と実感しました(笑)。そして原屋副幹事とは、事あるごとに目で会話しながら、乗り切ってきた同志のような関係でした。本当に心強かったです。こうして１年間やってこられたのは、会長・幹事をはじめ、理事役員の皆様、そして会員の皆様のお支えがあってこそです。心より感謝申し上げます。そして今の率直な気持ちは「やっと終わった」これに尽きます(笑)。後任の副幹事の方には、「大丈夫ですよ」と笑顔でお伝えしつつ、このやりがいと少しのドキドキをぜひ楽しんでいただきたいと思います。これからは一会員として、またクラブ活動に関わらせていただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。最後に、広島西南ロータリークラブのさらなる発展と、40周年事業の成功を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。１年間、本当にありがとうございました。

副幹事

原 屋 真 吾



今年度、副幹事を仰せつかりました原屋でございます。

宮﨑会長・田中幹事のもと・小林副幹事に大変支えてもらいながら何とか１年間例会を運営する事ができました。お誕生月・結婚記念日の挨拶を引き受けていただきました会員の皆様には感謝申し上げます。

正直３年目で副幹事は早すぎるのではと思いましたが、実際経験してみて感じたのは、やるべきことなのかなと感じました。

期初に大先輩方とお話ししたときに副幹事は３年目くらいが一番いいんだよって話されており、それをふ

と思い出して確かにそうだなと思いだしました。
３年未満の会員のみなさん、是非次次年度立候補した方が良いと思います。
１年間会員の皆様、そして事務局の渡邊さん相澤さん、様々なフォローをいただき本当にありがとうございました。

委員長退任挨拶（6月9日 第1810回例会卓話）

出席＆プログラム委員会　委員長

平 岩 宏 隆



出席＆プログラム委員長の平岩です。１年間どうもありがとうございました。宮﨑会長、田中幹事、岡本理事、佐古副委員長に支えられ、また皆さまのご協力を賜り大過なく務めることができました。
「感謝を胸に！持続可能な社会のために―ロータリーだからできること！」という今年度スローガンが好きで、卓話講師はそのイメージに合う方にお願いして参りました。
プログラム委員長は好みの講師を選べて、お話を聞くことができ、更にその方と親しくなれるという、とてもメリットの大きな役目で、楽しかったです。
出席率100％については残念ながら達成できませんでしたが、ここ数年では最も高い素晴らしい出席率であったと思います。
この流れで是非次年度は100％達成をして参りましょう。
以上簡単ですが､退任のご挨拶とさせていただきます。
どうもありがとうございました。

親睦家族活動委員会　委員長

上 野 良 祐



親睦家族活動委員長の上野です
微力ながらも会員皆様、親睦家族活動委員皆様の支えにより委員長を務めさせていただきました。
諸先輩方が物足りなさを感じておられる昨今の親睦家族活動。かつての親睦家族活動＝温故知新を目指し活動したかったのですが、私の力足りずで志半ばでの任期満了となりました。
残した志は次年度委員長の濵田さんに託したく存じます。
１年間ありがとうございました。

クラブ広報委員会　委員長

尾 﨑 順 也



クラブ広報委員会委員長を務めました尾﨑です。就任早々から宮﨑会長、田中幹事が率先しメディアに赴き、次年度40周年について宣伝をしていただいたので大変助かりました。
プレスリリースも田中幹事のご協力の下､中国新聞、TSS、経済レポート、広島経済レポート等に沢山取り上げて貰えました。
ロータリーの友誌の掲載は、３回申し込みをして１回掲載されたのでホッとしております。
また、事務局の渡邊さんに協力していただきホームページの内容を順調に更新致しました。会員紹介の充実、毎例会情報のアップ、奉仕活動等をスライドショーにして適宜アップデート致しましたので、会員の皆様にも是非ご覧になってもらいたいです。ホームページを充実させることは会員増強にもつながるかと思います。
次年度は池田会員に引き継いでいただきますので、更に内容の充実したものになると期待しております。
皆様のご協力のおかげで少しは広島西南ロータリークラブが認知されたのではないかと感じております。
１年間どうもありがとうございました。

会報資料委員会　委員長

寺 西 浩 一



皆さま、こんにちは。
この１年間、会報資料委員長を務めさせていただき、今月末で無事に任期を終えることとなりました。
まずは、委員会活動にご理解とご協力をいただきました会長をはじめ、理事・役員の皆さま、そして会員の皆さまに心より感謝申し上げます。
この１年、会報を作成する中で、多くの方々に原稿や写真のご提供をいただきました。皆さまのご協力がなければ、委員会の活動は成り立ちませんでした。
私自身、この役職を通じて、クラブの活動をより深く知ることができ、多くの学びと貴重な経験を得ることができました。委員長として至らない点もあったかと思いますが、皆さまの温かいご支援のおかげで何とか務めを果たすことができました。
次年度も会報資料委員会がさらに充実し、広島西南ロータリークラブの魅力や活動がより多くの方々に伝わることを願っております。
１年間、本当にありがとうございました。

増強委員会　委員長

栗 原 佑 哉



増強委員長を務めさせていただきました栗原です。
この１年間、会員の皆様にはオープン例会や10年会をはじめ、増強へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
増強委員会では、会員増強ならびに退会防止に向けた取り組みを行ってまいりました。しかしながら結果として、新入会員３名（衛星３名）計６名に対し退会

者５名（衛星１名）計６名となり、会員純増という目標を達成することはできませんでした。
　増強は広島西南ロータリークラブの未来を支える重要な活動であり、その責任の重さを改めて感じております。
　この１年を通じて入会候補者との出会いや、クラブの魅力を再認識する機会にも恵まれました。これらの経験が次年度の増強活動につながることを願っております。
　１年間、本当にありがとうございました。

会員選考・職業分類委員会　委員長
白 築 忠 治



　本年度は、３名の方、高田さん・木原さん・堀さんを選考し、職業分類を行いました。
　なお、衛星クラブは本クラブの職業分類表の縛りがありますので、30歳未満の若い人の入会のため、「クリエイター」、「SNSマーケティング」の職業分類を新設しました。新しい時代の大きな流れを痛感しております。
　ありがとうございました。

ロータリー情報委員会　委員長
水 谷 耕 平



　ロータリー情報委員会の水谷です。
　今年度は橋本幸範会員、佐々木宏会員とともに１年間活動しました。
　職業奉仕委員会と合同で、ロータリー情報GMを２回開催しました。また、あらたに新会員向けの簡単なレジュメを作成し、新会員にロータリー情報のレクチャーも実施しました。こちらは次年度に引継ぐ予定です。
　つつがなく委員会活動を実施できたこと、会員の皆様に御礼申し上げます。
　１年間ありがとうございました。

職業奉仕委員会　委員長
新 井　　務



　職業奉仕委員長　新井です。
　４つのテスト唱和から始まり、ロータリー情報委員会合同GMでは目標の25名に近い出席をいただくことができ、職場訪問例会も田中食品さんへ行かせていただき皆様のご協力とお手伝いを沢山いただいたことで、スムーズに行事を行うことができました。
　又優良従業員表彰も快くお受けいただき、本当にありがとうございました。

社会奉仕委員会　委員長
鍵 岡　　馨



　本年度、社会奉仕委員会を担当させていただきました鍵岡馨です。
　７月26日に平和記念公園清掃を実施し、会員・家族総勢40名が参加しましたが、私は娘の鳥人間コンテストがあった為欠席しました。
　地区補助金事業として、広島廿日市特別支援学校阿品台分校に寄贈品贈呈式とカフェ運営支援を行いました。当会から19名、衛星クラブから２名、総勢21名で参加をしてお手伝いをしました。当日以外にも２回訪問して事前のミーティングを行ったので、無事終わって良かったです。
　当クラブの記念樹・広域公園の梅の園のメンテナンスを実施しました。
　会員皆様のご協力があったので無事事業を行うことができました。
　１年間ありがとうございます。

国際奉仕委員会　委員長
岩 田 智 博



　継続支援先でもある「ひろしま日本語教室」の生徒さん家族とボランティアスタッフの皆さんへ、日本の文化の体験として「そば打ち体験」を実施しました。
　2/7（土）ひろしま日本語教室の生徒さん家族とボランティアスタッフ47名、西南スタッフ23名で、紙屋町シャレオ内の貸会場で開催、生徒さん家族、ボランティアスタッフの皆さんたちに大変喜んでいただけたイベントとなりました。

青少年奉仕委員会　委員長
穴 井　　茂



　皆様、１年間にわたり青少年奉仕委員会の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
　本年度は心臓病を守る会広島支部の皆様をカープ観戦へご招待する事業をはじめ、広島平和公園の早朝清掃活動、そして次代を担う若者の成長を支援するRYLA研修への参加・支援など多くの活動を行うことができました。
　これらの活動を通じて、奉仕の心や平和への願い、そして未来を担う青少年の可能性を改めて実感することができました。これもひとえに皆様のご支援とご協力のおかげです。
　１年間青少年奉仕委員長として務めさせていただきましたことに深く感謝申し上げます。今後はサッカーを通じて平和と青少年のための育成活動に努めてまい

ります。
簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。

スマイル委員会　委員長

上 田 直 治



今年度スマイル委員長を努めさせていただきました上田でございます。
沖井会員、室﨑会員と共に、今年度頑張りました。
また会員の皆様方には、スマイル委員会に例年以上のご理解ご協力をいただきまして、誠に有難うございました。皆様方のご尽力を持ちまして無事に予算達成をすることができました。
今年度、出宝いただきました皆様、及びクラブ全会員の皆様に感謝申し上げます。
誠に有難うございました。

ロータリー財団委員会　委員長

杉 本 清 英



今年度、ロータリー財団委員長を担当しました杉本です。副委員長の佐藤克則会員と石井和彦会員で１年間活動しました。皆さんのご協力で今年度の会長目標であるロータリー財団寄付　150ドル／人、ポリオプラス基金　30ドル／人は現時点で無事達成することができました。また、ベネファクターには宮﨑会長が、ポール・ハリス・フェローは児玉会員、水谷会員、岡本倫明会員、沖井会員の４名にお願いし快諾いただきました。ありがとうございます。
様々な部署を担当しましたが、財団系は今回が初めてでした。例年の集め方を理解していなかったので、11月会費でロータリー財団寄付として145ドル／人（ロータリーレート１ドル154円だったので）財団22,330円／人、ポリオ　4,620円／人を集めさせていただきました。ポール・ハリス・フェローの負担を少なくしたので、皆さんに均等に請求しました。本来であれば自発的に寄付いただくべきでしょうが会費請求してしまい、申し訳ございませんでした。
衛星クラブ分は、今年度理事会で決定したスマイルにより拠出しました。例会が減っているので度々全員出宝となり、ご負担をおかけしました。すみませんでした。
皆さんがロータリー財団に寄付していただいたお金の一部は、地区補助金事業としてクラブにも還元されています。引き続きご協力をお願いいたします。

米山奨学委員会　委員長

長 野　　宏



皆さんこんにちは。米山奨学委員長の長野です。
今年度は、前半より会社業務の多忙さもあり、委員会活動を進めるうえで戸惑うことも多くございました。
また、奨学生の卓話につきましても、当初は奨学生が不在の状況であり、実施に向けて苦慮しておりましたが、４月に新たな奨学生のカウンセラーをお引き受けする機会をいただき、無事に卓話を開催することができました。
さらに、米山記念奨学会への寄付につきましても、当初は目標額に届かない状況でしたが、多くの皆さまのご協力、とりわけご寄付にご尽力いただいた方々のお力添えにより、目標を達成することができました。
この場をお借りして、ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。
最後になりますが、会員の皆さまの温かいご支援とご協力に深く感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。
１年間、誠にありがとうございました。

戦略計画委員会　委員長

杉 川　　聡



戦略計画委員会委員長の「杉川 聡」です。
以前は「長期計画委員会」と呼んでいた委員会が、現在は「戦略計画委員会」となりました。それとは別に「行動計画推進委員」もクラブに設置されました。RIが提唱している「行動計画」はご存じだと思いますが、クラブ運営を少し長期的な視野を持ち、計画的に運営をしていくために、会長のサポートをする委員会のような位置付けとなっています。会長エレクト、ノミニー、デジグネイトの３名と行動計画推進委員と戦略計画委員会とで密に連携を保ち、長期的な計画に基づき活性化されたクラブ運営ができますように努めていこうということであります。
本年度は、会員の中にロータリー経験の少ない委員も多くみられますので、戦略計画の勉強会を実施させていただきました。その中で、RIの打ち出された柔軟な方向性に対して、広島西南ロータリークラブらしいクラブ運営のあり方を模索して参りました。
年に２回はGMを開催する予定でしたが、１回目の勉強会を実施しましたが、２回目の協議は未実施となりました。その他、全会員向けに危機管理の卓話を１回実施させていただきました。来年も同じく委員長をさせていただきますので、行動計画の内容に付いての確認、会員への認知度向上の為の勉強会や卓話を実施していきたいと思っております。

今年１年お世話になりました。ありがとうございました。

西南の集い親善委員会　委員長

新 藤 幸 次 郎



２月20日（金）21日（土）の２日間で京都の地にて「西南の集いイン京都」が開催されました。

全国から８クラブ（京都、大阪、岡山、松本、熊本、福知山、東京、広島）の合計150名の西南と銘打つロータリアンが集結しました（広島西南RCは27名。ご家族含む）。

エクスカーションで20日は京都国立博物館、21日は京都御所を京都西南RCメンバーのご案内で見学。21日夜は鶴清で懇親会が開催され全国のロータリアンと深い交流、親睦がなされました。

次年度の開催地の岡山での再会を約束しました。

メモリアル保存委員会　委員長

寺 本 真 司



2025-2026年度も、メモリアル保存委員会の委員長の任を賜っておりました寺本真司です。

今年度は、結果的に唯一の事業となってしまいました広域公園の梅林のメンテナンス作業に対して大勢のメンバーに参加していただきまして、本当にありがとうございました。

次年度は40周年の記念事業として企画が予定されており、メンバーの皆様には更なるご協力をお願いすることになるかと思いますが、宜しくお願いします。という次年度予定者のコメントも含んだ、とりあえずの退任、感謝のご挨拶とさせていただきます。

台北新東RC親善委員会　委員長

岩 田 智 博

今年度は、10月30日～11月３日で、西南有志15名、台北新東11名で熊本旅行を実施、親善を深める旅行となりました。

ロータリー国際大会IN台北（6/12～6/14）へ総勢28名で参加、台北新東RCの例会出席もし、次年度の40周年記念事業の説明と記念式典への相互訪問について打ち合わせをしました。

10年会　委員長

尾 﨑 順 也

漆原会員が東京に赴任されることになりましたので、年末から急遽10年会の委員長に就任いたしました。本来ですと、３月と６月に10年会を開催するスケジュールとなっておりましたが、都合付かず開催できず大変申し訳ございませんでした。

今年度は、宮﨑会長、田中幹事が率先して会に参加いただき、ゲスト参加者の木原さんが入会され会員増強にも繋がりました。また、ゲストがいない時には、どうすれば10年会が盛り上がるのかと忌憚のない意見交換もでき、大変有意義な１年となりました。

本来、10年会とは10年付き合える仲間を作りたいとの目的で岩田会員が立ち上げました。これからは入会10年を経過してもどしどし参加して、親睦を深めていただければと思います。

次年度は、原屋会員に10年会委員長を引き継いでもらいますので、益々盛大な会になると思います。

約半年間ではありましたがご協力ありがとうございました。

研修リーダー　委員長

根 石 英 行



今年度としては、研修活動自体としては行っておりませんが、宮﨑会長に会長時間で熱心にロータリー情報の発信を行っていただきましたので、研修活動の一環と考えております。またロータリー情報委員会にもロータリー情報の提供を行っていただきました。今年度に続き次年度の児玉会長にもロータリー情報の積極的な提供をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

衛星クラブ委員会

水 谷 耕 平

衛星クラブ委員会の水谷です。

本格的な事業年度としては２年目の衛星クラブですが、今年度は、月１回の理事会の実施、各委員会を立ち上げ、委員会からボトムアップして活動内容を実施していく体制ができるなど、クラブとしての基礎が大いに固まった年度となりました。

また、私が講師役となり、ロータリー情報の卓話を年間５回実施しました。職業奉仕の理念だけでなく、広島西南RCの生い立ち、歴史、活動内容を知ってもらう内容としました。衛星クラブ会員が、親クラブ衛星クラブともに愛着を持ってもらえればと期待しております。

こちらも１年間ありがとうございました。



会長時間

第1809回例会　6月2日
「持続可能性とSDGs　次年度へ向けて」

皆さん、こんにちは。

本日は、2025-2026年度も終盤を迎えるにあたり、この１年を少し振り返りながら、**広島西南ロータリークラブの持続可能性とSDGs、そして次年度へつなぐこと**についてお話しさせていただきます。

この１年、私たちは多くの例会や事業、そして奉仕活動を行ってきました。外国人との交流事業や地域との活動、平和や環境、共生社会をテーマにした取り組みなど、ロータリーの理念である「奉仕」と「友情」を実践する機会が数多くありました。

その中で私が改めて感じたのは、**ロータリークラブの活動そのものが、SDGsの理念と非常に親和性が高い**ということです。

例えば、地域社会との交流は「住み続けられるまちづくり」、平和を考える活動は「平和と公正」、環境への取り組みは「気候変動への対応」、そして異なる文化や背景を持つ人たちと共に活動することは「誰一人取り残さない社会」に通じています。

つまり私たちは、SDGsという言葉が広がるずっと前から、地域の持続可能性を支える活動を続けてきたと言えるのではないかと思います。

そして、クラブ自身にも「持続可能性」が求められます。

会員増強、世代交代、活動の意義の共有、地域との関係づくり。これらはすべて、クラブを次の世代につなぐための大切な課題です。

私はこの１年、「変えてはいけないもの」と「変えるべきもの」の２つを常に意識してきました。

ロータリーの理念である**奉仕と友情**は、決して変えてはいけないものです。しかし、活動の形や方法は、時代に合わせて変えていく必要があります。

それが、40周年、そしてその先の50周年へと続く、広島西南ロータリークラブの持続可能性につながると考えています。

今年度の活動は、決して私１人でできたものではありません。会員の皆様、そしてご家族、地域の皆様のご協力があってこそ実現できました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

そして大切なのは、この１年を「終わり」にするのではなく、次年度へつなげていくことです。

ロータリーの活動は、単年度で完結するものではありません。先輩方が築いてこられた歴史の上に、私たちが１年を積み重ね、また次の世代へバトンを渡していく。まさにそれが、ロータリーの持続可能性そのものだと思います。

次年度も、広島西南ロータリークラブが地域に必要とされるクラブであり続けるために、皆様とともに歩んでいきたいと思います。

残りわずかな任期ではありますが、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

第1810回例会　6月9日
「職業奉仕と自社の事業について」

皆さん、こんにちは。

本日は「職業奉仕」をテーマについて、お話しさせていただきたいと思います。

「職業奉仕」と聞くと、少し難しく、あるいは崇高すぎるものに感じられるかもしれません。しかし、その本質は決して複雑なものではありません。私たちが日々向き合っている本業を通じて、いかに社会に貢献し、他者の役に立つか。これに尽きると私は考えております。

そこで本日は、大変僭越ではございますが、私が代表を務めております「株式会社ニシキコネクト」の取り組みを例に挙げながら、私なりの「職業奉仕」の体現について共有させていただきます。

「繋ぐ」本業が、そのまま社会貢献になる

ニシキコネクトは、その名の通り「コネクト＝繋ぐ」をミッション（使命）として掲げております。人と人、企業と企業、そして地域と未来を、対話やIT技術、あるいは仕組みづくりによって結びつけるのが私たちの生業（なりわい）です。

この本業において、私たちが常に自問自答しているロータリーの教えがあります。それが、皆様おなじみの「四つのテスト」です。

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

ビジネスの世界では、どうしても短期的な利益や効



率が優先されがちです。しかし、ニシキコネクトが手がける「繋ぐ」ビジネスにおいて、もしもそこに「誠実さ（真実）」が欠けていたり、一部の人だけが利益を得るような「不公平」なものであったりしたら、その繋がりはすぐに切れてしまいます。

私たちが目指すのは、関わったすべての人が笑顔になり、地域の経済やコミュニティが活性化するような、まさに「みんなのためになる」持続可能な繋がりをデザインすることです。利己的な利益の追求ではなく、相手の繁栄を第一に願う「超我の奉仕」の精神を、日々の商談やサービス開発のなかに落とし込むこと。これこそが、我が社における職業奉仕の第一歩です。

社員の成長と、地域への還元

また、職業奉仕は「外部の社会」に対してだけ行うものではありません。最も身近な社会である「社員」や「家族」に対する奉仕も重要です。

ニシキコネクトでは、社員一人ひとりが自らの仕事に誇りを持ち、自らの職業を通じて社会に貢献している実感を味わえるような環境づくりに力を入れています。一人のロータリアンとして、私が会社経営のなかで公平で誠実な姿勢を示し続けること。それによって、社員たちもまた、お客様や地域社会に対して自然と「奉仕の心」を持って接するようになると信じております。

このように、本業の質を高め、誠実にビジネスを展開することそのものが、結果として広島という地域社会を豊かにしていく。この好循環を生み出すことが、私に与えられた経営者としての、そしてロータリアンとしての職業奉仕のあり方です。

結びに

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、「ロータリーがその正当な運命を全うしようとするならば、私たちは常に進歩し、時として変化しなければならない」と言い残しました。

時代の変化とともに、ビジネスの形や社会が抱える課題は変わっていきます。しかし、私たちが持つべき「職業奉仕の精神」の根幹は、決して揺らぐことはありません。

皆様もぜひ、ご自身の素晴らしいお仕事、そのプロフェッショナルとしての技術や知識を通じて、どのような奉仕ができるか、改めて思いを馳せてみていただければ幸いです。ニシキコネクトも、まだまだ発展途上ではありますが、広島西南ロータリークラブの皆様の背中を追いかけながら、これからも本業を通じた社会貢献に邁進してまいります。

これにて本日の会長時間を終わります。ご清聴ありがとうございました。

第1811回例会　6月23日
「ロータリーの活動について」

本日の会長時間は、この2025-2026年度を振り返り、当クラブの活動について、皆様に心からの感謝をお伝えする時間とさせていただきます。

この１年を振り返ると、心臓病の子どもたちと一緒に声援を飛ばした野球観戦での親睦事業、そして日本語教室の生徒や家族との絆を深めた国際奉仕事業、廿日市特別支援学校への地区補助金を活用した社会奉仕事業、職業奉仕として開催した田中食品さんへの職場訪問例会など、本当に多くの奉仕事業を開催することができました。また、趣向を凝らした卓話者で学びを深めた例会、平和を考える平和例会やクリスマス例会・お花見例会・慶事例会などの会員の絆を深める親睦事業も、会員の皆さんの積極的な参加により大いに盛り上がりました。

そして、なによりも担当いただいた理事・委員長の皆さんには心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今月末をもちまして、2025-2026年度はひとつの区切りを迎え、７月からは児玉会長の「40周年の感謝を奉仕の力に、未来へ挑む」をスローガンに次年度の新体制へと、バトンが引き継がれます。

次年度では、広島西南ロータリークラブがさらに新しく、より高く飛躍していく姿を、私は今から大変心強く、楽しみにしております。皆様、次年度の素晴らしいスタートに向け、引き続き変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様から寄せられたこの１年間の格別のご厚情に、重ねて深く感謝申し上げます。広島西南ロータリークラブの今後ますますのご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、本年度最後の会長時間とさせていただきます。

１年間、本当にありがとうございました。

掲　示　板

７月行事予定

❖７月７日（火）　13：40～
第１回理事役員会
「ANAホテル広島４F　アマリリス」

❖７月14日（火）　13：40～
公式訪問フォーラム
「ANAホテル広島３Fカトレア」

❖７月17日（金）　18：30～
新会員歓迎会「ANAホテル広島３Fアカシア」

❖７月21日（火）　12：00～
第13回創立40周年実行委員会会議
「ANAホテル広島１Fフリュティエ」

❖７月25日（土）　７：00～８：00
平和公園早朝清掃

❖７月28日（火）　13：40～
第１回クラブ協議会
「ANAホテル広島３Fカトレア」

例　会　記　録

第1809回例会　6月2日
12:30～13:30　ANAクラウンプラザホテル広島

国歌・われらの生業
会長時間
誕生月記念品贈呈
宮﨑真　会員



6月誕生日を代表してのあいさつ
本日は誕生日のお祝いをいただき、ありがとうございます。
今月で55歳になります。前回あいさつさせていただいたのは2024年、その前が2023年、そして1番はじめは2015年でした。
2014年入会ですから、ロータリーに入会して12年も皆さんにお祝いをしていただいていますことに感謝申し上げます。
私が生まれたのは昭和46年6月ですが、昭和46年に誕生して今では当たり前になっているものを紹介したいと思います。

1．NHK全番組カラー化実施
2．銀座マクドナルド1号店
3．日清食品「カップヌードル」発売
4．仮面ライダー放送開始

50年以上経ち日常に定着しているように、私たちの企業も長く愛され末永く繁栄できるように、ロータリー活動を通じてお互い切磋琢磨して参りましょう。



幹事報告
ロータリーレート変更の案内（160円→159円、6月から）。／BOX配布物の案内（台北国際大会参加者旅のしおり（スケジュール））。／フォレスタコンサートのポスターとチラシ申込みは本日まで。／10月23～25日　宇部地区大会の仮登録回答期限は6月9日（火）、6月23日（火）最終夜間例会の回答期限は6月13日（土）。それぞれ事務局まで連絡のこと。／6月9日（火）例会前11時30分より第6回次年度理事役員会、例会終了後13時40分より事前クラブ協議会開催。／本日18時より、第12回理事役員会を平八ダイニングにて開催。

スマイルボックス
新藤幸次郎　会員、児玉栄威　会員、
有留純　会員（衛星クラブ）

出席報告
会員数　62名　出　席　47名　欠　席　15名
来　客　0名　来　賓　0名
ゲスト　1名

プログラム
会員卓話
「米山記念奨学事業とは」
米山カウンセラー　長野宏　会員



皆さま、こんにちは。米山奨学会委員長の長野です。
この度は2710地区より、広島西南ロータリークラブが世話クラブとして奨学生を引受けさせていただくこととなり、私がカウンセラーとしてお世話をさせていただくこととなりました。
奨学生のお名前はゴーテイ リンさんで、ベトナムの方です。
本日は、この後に自己紹介も含めて卓話をしていただきますので、よろしくお願いいたします。
それではまず、近年入会者の方にも知っていただくために、米山記念奨学会の簡単な説明をさせていただきます。

［米山記念奨学会の説明］
米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した事業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。
1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。
米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳で米国へ渡り、ベルモント・アガデミー（カリフォルニア州）、ウエスレヤン大学（オハイオ州）、シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。
帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。
信託業法が制定されると、いち早く信託会社を設立して新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピー（Philanthropy）の基盤を作りました。
晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。
また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財

を投じて小学校を創立しました。
“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りにせよ”
これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。
“他人への思いやりと助け合い”の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

世界の平和を願って　―なぜ留学生支援なのか―

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎い入れ、平和を求める日本人との出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――

事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。
それから60年余の歳月が流れましたが、“民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。
むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しているのではないでしょうか。
留学生への支援は、未来に向かって平和の架け橋をかける尊い奉仕なのです。
このような強い思い・理念をもって、現在まで奨学生の支援を行っております。
それでは、卓話に移ります。
ゴーテイ リンさん、よろしくお願いいたします。

「日本に来て思うこと」

米山奨学生　ゴーテイ　リン　様



第1810回例会　6月9日

12:30～13:30　ANAクラウンプラザホテル広島

奉仕の理想
四つのテスト唱和
会長時間
結婚記念月記念品贈呈

西田英俊　会員



私が結婚しましたのは平成15年(2003年）６月15日、当時24歳でした。妻は１学年上の25歳でして、大学在学中に知り合い、妻が先に兵庫県に就職したため遠距離恋愛を解消したかったのと、妻の言う「25を過ぎると売れ残りになる」という、いわゆる「クリスマスケーキ理論」を信じたという事情がございました。私の親父からは「まだ早いのではないか」と言われたことを覚えております。近隣の年配者からは「金のわらじを履いて探した」と言われました。

当時の私はサラリーマンで、朝６時から23時まで残業代なしで働いており、自宅アパートに帰ると社会保険労務士の勉強をしておりました。そのさなか、３人の子どもに恵まれましたが、幼い子ども３人と専業主婦という状態で、私の「起業したい」という思いに妻が賛成してくれたことを感謝しております。

私が運営する「ソアレ社会保険労務士法人」は令和４年設立ですが、前身となる「オフィスたいよう」という個人事業と関連会社の創立は平成25年でした。私から妻に対する財務状況の情報開示は一切ないまま、よく今日まで耐えてくれたものだと感心しております。

私の家系ですが､おそらく江戸時代から続く農民が､戦後マッカーサーによって農地解放され、親父の代では広島のある一つの中小企業で44年間勤めあげた由緒正しき兼業農家、母は「女の定年は30」ということで長年にわたる専業主婦という、筋金入りのサラリーマン家庭であり、一族の中に特に経営者のような者はおりませんでした。母方の祖父が村会議員だったくらいです。そのような中で「経営者になる」と言い出した私に対し、妻はよく理解を示してくれたものだと思います。

おかげさまで、今の私はロータリークラブに入れるようになるほど生活が安定し、昨年には末期がんを患いながらも、従業員が各々の持ち場を守ってくれたおかげで会社経営も支障なく、休日は庭にピザ窯を作るという生活を送っておりますが、これも家族をはじめとする周囲の支えがあってのものと思います。これからも残された人生を大切に過ごしていきたいと思います。

幹事報告

BOX配布の案内（６月９日第３回次年度（事前）クラブ協議会次第・ガバナー補佐、補佐幹事プロフィール）。／10月23～25日の宇部地区大会仮登録の回答期限は本日まで、６月23日（火）最終夜間例会の出欠回答期限は６月13日（土）まで。それぞれ事務局まで連絡のこと。／例会終了後事前クラブ協議会開催。／次週６月16日は休会、６月23日は最終夜間例会。

スマイルボックス

国際ロータリー第2710地区グループ７　次年度ガバナー補佐　渡邊英晶　様、上田直治　会員、堀健司　会員、小川光博　会員、栗原佑哉　会員

出席報告

会員数　62名　出　席　50名　欠　席　12名
来　客　０名　来　賓　０名
ゲスト　２名

プログラム
委員長退任挨拶

第1811回例会 6月23日

18:30~20:30　ANAクラウンプラザホテル広島

最終夜間例会

手に手つないで

会長時間

１年間ホームクラブ出席率100%お祝い



米山功労者表彰



幹事報告

BOX配布物の案内（会報）。／７月７日（火）例会修了後、次年度理事役員の写真撮影あり（ネクタイ着用のこと）。／７月17日（金）新会員歓迎会の出欠回答期限は７月10日（金）。／７月25日（土）平和公園早朝清掃の出欠回答期限は７月14日（火）。／2025-26年度事業報告書の提出期限は７月17日（金）。

出席報告

会員数　62名　出　席　53名　欠　席　９名
来　客　０名　来　賓　０名
ゲスト　６名

プログラム

理事役員退任挨拶



芝楽会

6月6日(土)　芸南カントリークラブ



順位	名前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	白築　忠治	54	51	105	36.0	69.0
2位	佐々木　宏	45	44	89	18.0	71.0
3位	遠崎　秀一	40	42	82	5.0	77.0
4位	室崎　雅宣	46	47	93	14.0	79.0
5位	鍵岡　　馨	56	54	110	26.0	84.0
6位	山下　哲夫	43	53	96	10.0	86.0
7位	上田　直治	49	50	99	9.0	90.0
8位	佐藤　二郎	63	61	124	26.0	98.0

スマイルボックス

6月2日

新藤幸次郎　会員　先日の慶事例会ではお耳苦しい歌をお聞かせしました。普段は夜の町で女子の前で歌うのみですので皆さんの前で歌うのは、勝手が違いました。今後も精進します。

児玉栄威　会員　4月24日に広島バスセンター3階のバスマチフードホールにおいてVEG-DELI（ベジデリ）という新店をオープンし、経済レポートに掲載していただきました。このお店は新鮮な野菜を使ったスムージーやサンドイッチを提供しています。バスセンターに行かれた際にはぜひ一度ご賞味ください。げっそり痩せます！

有留純　会員（衛星クラブ）　先週ボックスに卓話で紹介させていただいた音楽祭の案内を入れさせていただきました。皆様ぜひご協力のほどお願い申し上げます。

6月9日

次年度ガバナー補佐　渡邊英晶様　寸志

上田直治　会員　過去には同じ内容でホームテレビでテレビに出演しましたが、今回はRCCイマナマに明日か明後日の夕方に出演しますので、是非テレビを観て下さい！

堀健司　会員　広島経済レポートへの出稿を取り上げていただきました。

小川光博　会員　この度5月30日付で私の長男智久が社長に就任し私は会長に就任した事を皆様に御報告致します。又沢山のお祝いもいただきありがとうございました。今後も引き続き息子共々お引き立ての程どうぞ宜しくお願い致します。

栗原佑哉　会員　6月13日放送予定のRCC番組「ひなだんだん」でドッグカフェばぁばの蔵かふぇを取り上げていただきました。フォレスタのポスターもばっちり映っていると思うので皆さん観て下さい。それと皆様の懇親の場となればと思いオープンさせておりました流川のスナックベロニカ、少しづつ皆様にもご利用いただきなんとか3年が経ちました。ちゃんと皆様にお知らせできておらずすみませんでした。今後とも宜しくお願い致します。あ！本業でも子犬9匹生まれてます!!

6月の会員記念日

会員誕生日

佐藤　克則	1日
平石　雅史	3日
宮﨑　　真	17日

入　会　月

宮本　　昇	H11年
鍵岡　　馨	R1年
佐々木　潤	R4年

結婚記念日

先小山英夫	1日
沖井　　翔	2日
岡本　倫明	4日
西田　英俊	15日
栗原　佑哉	15日
尾﨑　順也	19日
遠崎　秀一	20日

創　業　月

桒田　博正	広島シティ法律事務所	H20年
宮﨑　　真	株式会社ニシキコネクト	S42年
寺本　真司	株式会社寺本緑化建設	S37年
漆原　健夫	株式会社ペルラ構造	H28年

パートナー誕生日

深谷　泰之夫人	和佳乃様	4日
長野　　宏夫人	夏子様	10日
木原　全弥夫人	蔦枝様	15日
尾﨑　順也夫人	隆子様	19日
新藤幸次郎夫人	有香様	27日

2025-2026年度　第12回理事・役員会　議事録

日　時：2026年６月２日（火）18：00～
場　所：平八ダイニング（大手町）
出席者（敬称略：順不同）
　　宮﨑　児玉　岡本（倫）桒田　伊藤　山國
　　田中　小林　原屋
　　オブザーバー　尾﨑　渡邊11名
欠席者：平原　根石　徳納（遅参）３名

開会挨拶

宮﨑会長　→本日は第12回理事会にご出席いただきありがとうございます。約１年半の任期の中で、多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本日は主に報告事項のみとなりますが、例会はあと２回残っております。来年度は「児玉年度・40周年」という節目を迎えますので、今年度の成果・課題をしっかり次年度へつなげていきたいと思います。

配布資料　６月度会計

審議事項　なし

報告事項

⑴６月プログラムについて岡本（倫）→６月のプログラムに大きな変更はなし。

⑵６月度会計報告　田中→会計は全体として順調に推移している。スマイルボックスは目標まで残13万円であったが、当日の集計により残約６万円となった。最終例会も控えており、目標達成は可能と見込まれる。渡邊（事務局）→仮払いについて貸借対照表左下に記載の「15万６千円」の内訳について説明があり、40周年関連会議費や事例関連費が含まれることが示された。旅行関係費用は通常前払いが多いが､今回は仮払いとして処理されている。岡本（倫）→６月中に請求が届く見込みであり、６月末までに仮払金をゼロにする方針が確認された。会員への請求も６月中に行い、帳簿を整理する予定である。

⑶米山財団寄付金の進捗報告　山國（財団）→米山奨学会寄付について、長野委員長および山國委員長の働きかけにより、以下８名から寄付があった。寄付者（８名）佐藤（愛）会員、新藤会員、上田会員、杉本会員、岡本（俊）会員、山國会員、長野会員、山下会員、平岩会員については、本人希望により次年度へ繰り越すこととなった。寄付総額は約76万～80万円で、本年度分としてはほぼ目標に達している。衛星クラブ分については別途調整中であり、必要に応じて衛星クラブ側へ負担を求める可能性がある。今年度の西南ロータリー分としては、これでほぼ確定となった。

⑷ローターアクト共同運営について宮﨑→前回の回答以降、新たな連絡は特にない。広島南ロータリーにも話が回っているとの情報がある。東南クラブはインターアクトも抱えており余裕がないため、共同運営には消極的で「断る」意向を示している。全体として実現は難しい状況であり、後期に再度検討する可能性はあるものの、現時点での進展はない。

⑸40周年記念事業の進捗報告　児玉(副会長)→チケット申し込みは、先月時点で約800枚となっている。セブンイレブン等での申込状況は、実行委員会開催前に毎月取りまとめて報告されている。最新の申込状況については、次回（16日）に共有される予定である。

⑹次年度への申し送り事項　宮﨑→ローターアクト共同運営の件（継続課題）衛星クラブ関連の調整、歓迎会の日程調整　７月21日予定であったが、該当者の都合により再調整する。

⑺その他　理事役員報告→各理事・役員より、１年半にわたる活動を振り返り、それぞれの立場から思いが述べられた。任期を通じての取り組みやクラブ運営への協力に対する感謝の言葉が多く挙がり、会員への支援や協働への謝意が改めて示された。また、今年度の成果や課題を踏まえ、次年度に向けての期待や引き継ぎへの意識も共有された。全体として、１年半の歩みを労い合い、クラブの継続的な発展を願う前向きな挨拶が続いた。

協議事項　なし

講評　なし

閉会挨拶

児玉副会長→　皆さま、本日は大変お疲れさまでございました。本年度最後の理事会ということで、多くの方が清々しいお気持ちで迎えられていることと思いますが、私自身はまだ責任の重さを感じており、気の引き締まる思いでおります。とはいえ、この１年は本当に良い年度であったと感じています。まだ例会は残っておりますが、各事業も大きな問題なくスムーズに進めることができました。これもひとえに皆さまのご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。残りの期間も最後までしっかり務め、次年度も引き続きご支援いただければ幸いです。本日は誠にありがとうございました。　（議事録作成者：小林伸行）

編集後記

2026年７月28日発行

今月号で本年度最後の会報誌となりました。この１年、会員の皆様には取材や原稿のご協力、そして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。会報誌を通じて、例会や各種活動の様子、会員同士の交流を少しでも身近に感じていただけていれば幸いです。

７月からは、次年度会報資料委員長として勘田さんにバトンを引き継ぎます。勘田さんならではの新しい視点とアイデアで、さらに魅力あふれる会報誌を届けてくださることと思います。皆様におかれましても、引き続き会報誌へのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

１年間、本当にありがとうございました。　（寺西　浩一）

発　行　広島西南ロータリークラブ
[会　長] 宮﨑　真　[幹　事] 田中 朋博
[事務所] 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル13F
TEL 082-221-4894 FAX 082-221-4870
編　集　会報資料委員会

2026年台北国際ロータリー年次大会

6月13日(土)~17日(水)































